

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

教科担当者：（A、E、G組 濱田）（B、D組 山本）（C、F、H組 柴田）

使用教科書：（『高等学校言語文化』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、言語文化の担い手として、国語を尊重しその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|--|----|---|---|--|---|---|---|----------|
| | | | 経 | 書 | 読 | | | | | |
| 1 学 期 | 児のそら寝（宇治拾遺物語） 【知識及び技能】 ・古文と現代文の違いを理解する。 ・説話の特徴を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文と現代文の違いを意識して作品を読む。 | ・説話を読み味わう ・五十音図 ・歴史的仮名遣い ・古文と現代文の違い | | | ○ | 【知識及び技能】 ・古文と現代文の違いを理解することができる。 ・説話の特徴を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品を読み、登場人物の心情を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文と現代文の違いを意識して作品を読もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 芥川（伊勢物語） 【知識及び技能】 ・歌物語について知る。 ・平安時代の生活について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主語を明らかにしながら本文を読み、内容を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えながら作品を読む。 | ・歌物語を読み味わう ・平安時代の生活 ・動詞の活用 ・形容詞、形容動詞の活用 | | | ○ | 【知識及び技能】 ・歌物語について理解している。 ・平安時代の生活について理解を深めることができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主語を明らかにしながら本文を読み、内容を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の心情を考えながら作品を読もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 近代の詩 【知識及び技能】 ・詩の形式や表現の工夫について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩を読んで感じたことを鑑賞文にまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩の中から優れた表現を見つけ、味わう。 | ・詩の形式、表現の工夫 ・鑑賞文を書く | | ○ | | 【知識及び技能】 ・詩の形式や表現の工夫について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・詩を読んで感じたことを鑑賞文にまとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・詩の中から優れた表現を見つけ、味わおうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 2 学 期 | ある人、弓射ることを習ふに 丹波に出雲といふ所あり （徒然草） 【知識及び技能】 ・隠者の文学について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の身近な経験と重ね合わせて筆者の考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の身近な経験と重ね合わせることで、古典の世界と現代との共通点を見つける。 | ・随筆を読み味わう ・隠者の文学 ・助動詞の活用 | | | ○ | 【知識及び技能】 ・隠者の文学について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の身近な経験と重ね合わせて筆者の考え方を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の身近な経験と重ね合わせることで、古典の世界と現代の共通点を見つけようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 近代の短歌 【知識及び技能】 ・近代短歌について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の気持ちや感じたことを短歌で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて短歌を鑑賞する。 | ・伝統和歌と近代短歌 ・短歌の鑑賞 ・短歌の創作 | | ○ | | 近代の短歌 【知識及び技能】 ・近代短歌について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の気持ちや感じたことを短歌で表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・想像力を働かせて短歌を鑑賞しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | 故事成語 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基本を理解し、本文を正しく音読する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話から筆者の主張を正しく読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日常使っている故事成語が漢文に由来することに興味をもつ。 | ・漢文訓読の基本 ・再読文字 ・寓話から筆者の主張を読み取る | | | ○ | 【知識及び技能】 ・漢文訓読の基本を理解し、本文を正しく音読している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・寓話から筆者の主張を正しく読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本語との違いに注意しながら漢文を読み親しもうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A～H組：藤井）

使用教科書：（歴史総合(実教出版)）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代社会の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国や他国の歴史や文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

科目 歴史総合 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|---|
| 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 | 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 | 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配時数 |
|--|--|---|---|---|---|-----|
| A 単元 歴史の扉 【知識及び技能】生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、上記の諸事象と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】歴史の扉について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究する。 | ・歴史学習の動機付け ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】歴史の扉について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 1 |
| B 単元 近代化への胎動 【知識及び技能】18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究する。 | ・17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易 ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】「大航海時代から」世界への貿易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| C 単元 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識及び技能】18世紀後半以降の欧米の市民革命と国民統合の動向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】市民革命・産業革命の影響に着目して、主題を設定し、世界と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究する。 | ・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係 ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| C 単元 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 【知識及び技能】産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究する。 | ・18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係 ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】アジア諸国の変容を比較して関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| D 単元 欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識及び技能】19世紀後半以降の欧米の国民国家形成の動向および工業化の進展が帝国主義につながることを理解する。日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 | ・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係 ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。明治維新とその後日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。 【思考・判断・表現】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。明治維新の歴史的意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| E 単元 帝国主義の時代 【知識及び技能】19世紀後半以降の欧米の国民国家形成の動向および工業化の進展が帝国主義につながることを理解する。列強の進出と植民地形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 | ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出 ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。日本やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 6 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| F 単元 第一次世界大戦と日本の対応 【知識及び技能】第一次世界大戦への経緯と展開、戦後の欧米諸国の展開、国際協調体制を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦と日本の関係、戦後の世界の変容について考察し、表現する。 | ・総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制。大衆社会の形成と社会運動の広がり ・教科書 演習ノート ・一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦とヴェルサイユ体制について理解している。 【思考・判断・表現】第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦間期・列強の非戦間期・植民地や従軍地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 14 |

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|--|--|--|---|---|---|---|----------|----|
| 2 学 期 | <p>大戦の性格と評価、日本とソ連及び太平洋地域の関係について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究する。</p> | | | | | | | | | |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | <p>G 単元 日本が行方と第二次世界大戦 【知識及び技能】世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】国際秩序の変化や大衆化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> | <p>・国際協調体制の動揺、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰 ・教科書 演習ノート ・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。 【思考・判断・表現】ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのかを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。</p> | | | | ○ | ○ | ○ | 12 |
| 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | | |
| 3 学 期 | <p>H 単元 冷戦と脱植民地化 【知識及び技能】東西両陣営の緊張緩和が日本や中東を含むアジア・アフリカ諸国に与えた影響について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】冷戦が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】国際秩序の変化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> | <p>・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会 ・教科書 演習ノート ・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。 【思考・判断・表現】冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p> | | | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>I 単元 多極化する世界 【知識及び技能】ベトナム戦争によりアメリカ合衆国が揺れるなか、日米経済摩擦や他の東・東南アジア諸国の経済成長およびイスラム世界の変革があったことについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】国際秩序の変化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> | <p>・市場経済の変容と課題 ・教科書 演習ノート ・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】1960年代から80年代を中心に、冷戦下における各国の選択と経済成長について理解している。 【思考・判断・表現】各国の選択を比較し、「東アジアの奇跡」が起こった要因や世界史における意義について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦下における各国の政治的・経済的選択が、現代社会にどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p> | | | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>J 単元 グローバル化と現代世界 【知識及び技能】現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】グローバル化のもとの私たちについて、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p> | <p>・歴史的経緯を踏まえた現代的な諸課題 ・教科書 演習ノート ・一人1 台端末の活用 等</p> | <p>【知識・技能】冷戦終結の過程とグローバル化の特質について理解している。 【思考・判断・表現】グローバル化の進展や地域統合、ナショナリズムの強化について各地域を比較して考察し、その特質や問題点を自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】冷戦の終結とグローバル化の進展がどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。</p> | | | | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | | | ○ | ○ | | 1 | |
| | | | | | | ○ | ○ | | 合計 70 | |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科：数学

科目：数学 I

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（ A 組：岡崎 ） （ B 組：正田 ） （ C 組：木原 ） （ D 組：中島 ） （ E 組：中島 ） （ F 組：中島 ） （ G 組：岡崎 ） （ H 組：岡崎 ）

使用教科書：（ 数研出版 高等学校 数学 I ）

教科 数学

の目標：

- 【知識及び技能】数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| 1 学期 A 単元：数と式 式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする力を培う。 中学校までに取り扱ってきた数を実数としてまとめ、数の体系についての理解を深める。その際、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて理解するとともに、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 不等式の解の意味や不等式の性質について理解するとともに、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする力を培う。 集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 多項式の加法と減法 多項式の乗法 因数分解 実数 根号を含む式の計算 不等式の性質 1次不等式 絶対値を含む方程式・不等式 集合 命題と条件 命題と証明 サクシード数 I 完成ノート 一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができる。 ②集合と命題に関する基本的な概念を理解している。 ③二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 ④不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。 ②問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 ③不等式の性質を基に一次不等式を解く方法を考察することができる。 ④常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①数と式やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②数と式やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 22 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 2 |
| B 単元：2次関数 2次関数の値の変化やグラフの特徴を理解するとともに、2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。 2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> 関数とグラフ 2次関数のグラフ 2次関数の最大・最小 2次関数の決定 2次方程式 2次関数のグラフと x 軸の位置関係 2次不等式 サクシード数学 I 完成ノート 一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ①2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ②2次関数の最大値や最小値を求めることができる。 ③2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解することができる。また、2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察することができる。 ②二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①2次関数 | ○ | ○ | ○ | 19 |

| | | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|----|---|----|
| 2 学 期 | <p>D：図形と計量</p> <p>三角比の意味やその基本的な性質について理解し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を培う。図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導く力、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする力などを培う。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 三角比 三角比の相互関係 三角比の拡張 正弦定理 余弦定理 正弦定理と余弦定理の応用 三角形の面積 空間図形への応用 サクシード数学 I 完成ノート 一人1台端末の活用 等 | <p>【主体的に学習に取り組む態度】①図形やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>②2次関数やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p> | | | | | |
| | <p>【知識・技能】①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。</p> <p>②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。</p> <p>③正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導くことができる。</p> <p>②図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①図形と計量やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>②図形と計量やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p> | | | | | 19 | | |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | | 2 |
| 3 学 期 | <p>D：データの分析</p> <p>データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する力、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する力、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする力などを養う</p> | <ul style="list-style-type: none"> データの整理 データの代表値 データの散らばりと四分位数 分散と標準偏差 2つの変量の間の関係 仮説検定の考え方 サクシード数学 I 完成ノート 一人1台端末の活用 等 | <p>【知識・技能】①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。</p> <p>②コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <p>③具体的な事象において仮説検定の考え方を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。</p> <p>②目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。</p> <p>③不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりすることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①データの分析やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>②データの分析やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p> | | | | | |
| | <p>【主体的に学習に取り組む態度】①データの分析やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>②データの分析やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p> | | | | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | | 1 |
| | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | 74 |

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 数学 科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A組：佐伯）（B組：佐伯）（C組：岡崎）（D組：岡崎）（E組：中村）（F組：岡崎）（G組：佐伯）（H組：佐伯）

使用教科書：（数研出版 高等学校 数学A）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|--|
| 図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学的構造を見だし、数理的に考察する力を養う。 | 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|-------------|---|---|--|---|---|---|----------|
| 1 学 期 | A 単元：場合の数と確率 【知識及び技能】場合の数と確率について基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、場合の数・確率を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】場合の数・確率を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、場合の数や確率の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】場合の数・確率について数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 集合の要素の個数 場合の数 順列 組合せ 重複を許して作る組合せ 事象と確率 確率の基本的性質 独立な試行と確率 条件付き確率 原因の確率 期待値 サクシード数学A完成ノート 一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。 ②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。 ③確率の意味や基本的な法則について理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。 ④独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。 ⑤条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。 ②確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。 ③確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①場合の数・確率やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②場合の数・確率やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 19 |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | |
| 2 学 期 | B 単元：図形の性質 【知識及び技能】図形の性質における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、図形の性質を用いて事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】図形の性質を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、図形の性質に関する表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】図形の性質について数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 三角形の辺の比 三角形の外心・内心・重心 チェバの定理・メネラウスの定理 チェバの定理の逆・メネラウスの定理の逆 三角形の辺と角 円に内接する四角形 円と直線 方べきの定理の逆 2つの円 作図 正五角形の作図 直線と平面 空間図形と多面体 正多面体の体積 正多面体の種類 サクシード数学A完成ノート 一人1台端末の活用 等 | 【知識・技能】 ①三角形に関する基本的な性質について理解している。 ②円に関する基本的な性質について理解している。 ③空間図形に関する基本的な性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ①図形の構成要素間関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ②コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①図形の性質やそれに関わる定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。 ②図形の性質やそれに関わる定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 16 |
| | 定期考査 | | | | ○ | ○ | |
| | C : 数学と人間の活動 【知識及び技能】数学と人間の活動の関係について認識を深めると | <ul style="list-style-type: none"> 約数と倍数 素数と素因数分解 最大公約数、最小公倍数 | 【知識・技能】 ①数量や図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて理解することができる。 | ○ | ○ | | 6 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|--|---|---|---|----|
| 3 学 期 | <p>ともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】数学と人間の活動において、数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】数学と人間の活動において、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を身に付ける。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・整数の割り算 ・ユークリッドの互除法 ・1次不定方程式 ・記数法 ・座標の考え方 ・2点間の距離 ・ゲーム・パズルの中の数学 ・合同式 ・互除法の原理の照明 ・サクシード数学A完成ノート ・一人1台端末の活用 等 | <p>②数学史的な話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについての理解を深めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】①数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。</p> <p>②パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】①数学と人間の活動の関係について認識を深めるとともに、定理・公式のよさを認識し、事象の考察や問題の解決に活用しようとしている。</p> <p>②定理や公式を導くことやそれらを活用した問題解決において、粘り強く考え、その過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | 合計 |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～G組

教科担当者：泉水裕二（A・B・D・G・H組） 郡垂矢子（C・E・F組）

使用教科書：（東京書籍「化学基礎」）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けようとする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--------------------------|------------------------------------|
| 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 | 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 | 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 | |
|-------------|--|--|--|---|---|----------|----------|
| 1 学 期 | A 化学とは何か 【知識及び技能】化学と物質について、化学の特徴を理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学の特徴に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 化学とは何か 衣食住の化学 | 【知識・技能】化学と物質についての実験などを通して、化学の特徴について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】化学の特徴について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学の特徴に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| | B 物質の成分と構成元素 【知識及び技能】化学と物質について、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学と物質について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 純物質と混合物 物理変化と化学変化 混合物の分離ろ過昇華法 蒸留・分留 再結晶 クロマトグラフィー 元素 単体と化合物 同素体 物質の三態 拡散と熱運動 | 【知識・技能】化学と物質についての実験などを通して、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】化学の特徴、物質の分離・精製、単体と化合物、熱運動と物質の三態に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | C 原子の構造と元素の周期表 【知識及び技能】物質の構成粒子について、原子の構造、電子配置と周期表のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質の構成粒子について、観察・実験を通して探究し、原子の構造、電子配置と周期表について見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 原子番号 質量数 原子の表し方 同位体 ラジオアイソトープ 原子の電子配置 電子殻 最外殻 電子 価電子 閉殻 周期律 周期表 陽性と陰性 | 【知識・技能】物質の構成粒子についての実験などを通して、原子の構造、電子配置と周期表の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】原子の構造、電子配置と周期表について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】原子の構造、電子配置と周期表に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 2 学 期 | D 化学結合 【知識及び技能】物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合のものを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学結合について、イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質と化学結合に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | イオンの生成 陽イオンと陰イオン イオンの分類 イオン化エネルギー 電子親和力 イオン半径 イオン結合 イオン結晶 組成式 イオン結晶の性質 分子 共有結合 電子式 単結合 二重結合 三重結合 分子の種類 分子の形 高分子化合物 配位結合 電気陰性度 結合の極性 分子の極性 分子間力 分子結晶 共有結合の結晶 金属結合 金属の性質 合金 金属結晶の構造 化学結合と物質の分類 | 【知識・技能】物質と化学結合についてイオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| | E 物質と化学反応式（D 化学結合を含む） 【知識及び技能】物質質量、化学反応式のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、物質質量、化学反応式を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質質量、化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 原子の相対質量 原子量 同位体 分子量 質量 アボガドロ数 物質質量 モル質量 1 mol の気体の体積 気体の密度と分子量 溶液の濃度 化学反応式の書き方 未定係数法 イオン反応式 化学反応式の表す量的関係 反応物の過不足がある場合 | 【知識・技能】物質質量と化学反応式についての実験などを通して、物質質量、化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質質量、化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質質量、化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 | |
| 3 学 期 | F 酸と塩基（E 物質と化学反応式を含む） 【知識及び技能】実験などを通して、酸・塩基と中和のものを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、酸・塩基と中和を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸・塩基と中和に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 酸と塩基の性質 酸と塩基の定義 酸と塩基の価数 酸と塩基の強弱 電離度 水の電離と水素イオン濃度 水素イオン指数 酸性・塩基性と pH との関係 pH 指示薬と pH の測定 中和反応と塩の生成 塩の種類と塩の水溶液の性質 塩の加水分解 中和反応の量的関係 酸・塩基の強弱と中和反応 中和滴定 滴定曲線 | 【知識・技能】化学反応式についての実験などを通して、酸・塩基と中和の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸・塩基と中和について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸・塩基と中和について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 12 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| 3 学 期 | G 酸化還元反応（F 酸と塩基を含む） 【知識及び技能】反応についての実験などを通して、酸化と還元のことを理解するとともに、それらの観察・実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応式について、観察・実験などを通して探究し、酸化と還元を見出し表現する。 【学びに向かう力、人間性等】酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。 | 酸化と還元の定義 酸化数 酸化還元反応と酸化数 酸化剤と還元剤 電子の授受と酸化還元反応 酸化還元反応の化学反応式のつくり方 酸化剤と還元剤のはたらきの強さ 酸化還元滴定 金属のイオン化傾向 イオン化定 金属の反応性 電池の仕組み ダニエル電池 実用電池 金属の精錬 | 【知識・技能】化学反応式についての実験などを通して、酸化と還元を基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返り振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| | 定期考査 | | | ○ | ○ | | 合計 58 |

高等学校 令和5年度（ 学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科： 理科 科目： 生物基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者： (A, B, D, G組： 只木 (C, E, F, H組： 藤山 (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書： (実教出版 高校生物)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---------------------------|--|
| ・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生命現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 | ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 | ・生物や生命現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|--|---|--|---|---|---|----------|
| A 生物の特徴 生物の多様性と共通性 【知識及び技能】・生物が多様でありながら共通性をもっていることを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であり、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 ・地球上の全生物のエネルギーの物質がATPであることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・エネルギーの流れと代謝との関係を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | 1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 2節 生命とエネルギー ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習 | 【知識・技能】・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 ・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 ・試料の採取、染色などを行い、光学顕微鏡で観察する技能を習得している。 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】生物の特徴に関する事物・現象について主体的に関り、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| B 遺伝子とその働き 【知識及び技能】・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期に行われることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】・DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。 | 2章 遺伝子とそのはたらき 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報とタンパク質の合成 ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習 | 【知識・技能】・DNAが二重らせん構造であること、そのため、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ・ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 ・体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 ・DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 ・生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 【思考・判断・表現】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・体細胞分裂が行われる際に、DNAが複製されて遺伝情報の同一性が保たれることを理解しようとする。 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】・DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ・ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係について理解しようとする。 ・体細胞分裂が行われる際に、DNAが複製されて遺伝情報の同一性が保たれることを理解しようとする。 ・DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 13 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| C ヒトのからだの調節 【知識及び技能】・ヒトの体液濃度の調節に欠かせない、自律神経と内分泌系に関しての基礎的なしくみを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】授業や観察・実験を通して科学的な探究力や見通しをもった主体的態度を育成する。 | 3章 ヒトのからだの調節 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ ・教材 教科書、資料集、問題集 ・デジタル端末、顕微鏡等実験器具 ・主な観察、実験実習、考察学習 | 【知識・技能】 ・体内環境が一定の範囲に保たれることを理解している。 ・腎臓での塩類濃度の調節や、肝臓による物質の合成・分解などのしくみを理解している。 ・ホルモンの分泌により血糖量が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 ・解剖など生体を扱う技能を習得している。 ・複数の実験により得られたデータを比較・分析することにより、結論を導き出すことができる。 【思考・判断・表現】 ・腎臓の塩類濃度調節や体温の調節が、臓器や細胞から分泌されるホルモンなどの物質により調節されていることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 | ○ | ○ | ○ | 10 |
| 定期考査 | | | ○ | ○ | | 1 |
| D ヒトのからだの調節 | 3章 ヒトのからだの調節 | | | | | |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：（A・B組：倉口・石塚・西田・大比良・奥浦）（C・D組：倉口・石塚・西田・大比良・奥浦）（E・F組：倉口・石塚・西田・大比良・奥浦）（G・H組：倉口・石塚・西田・大比良・奥浦）

使用教科書：（新高等保健体育）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。 | 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 | 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 時 数 |
|---|--|---|---|---|---|-------------|
| A 体育理論 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自 | スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響 | 【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 2 |
| B 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 | 体ほぐしの運動 気付き・交流 実生活に生かす運動の計画の行い方 | 【知識・技能】 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などについて理解している。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |
| C 陸上競技 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 | 試走 タイム測定 スタートから1台目までのアプローチ 振り上げ脚 インターバル | 【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低くリズムカルに越すことができる。 【思考・判断・表現】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。 | ○ | ○ | ○ | 7 |

| | | | | | | | |
|-------------|--|---|---|---|---|---|---|
| 1 学 期 | <p>D 球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> | <p>ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | <p>E 水泳</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p> | <p>水慣れ クロール 平泳ぎ スタート タイム測定</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>F 武道</p> <p>【知識及び技能】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> | <p>基本動作 姿勢・組み方・すり足・歩み足・継ぎ足 受け身 横受け身、後ろ受け身、前回り受け身 固め技の連絡 けさ固め、横四方固め、上四方固め 投げ技 小内刈り・大内刈り・釣り込み腰・背負い投げ 投げ技の連絡・固め技の連絡 自由練習や簡易な試合</p> | <p>【知識・技能】伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自</p> | <p>スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> | <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | <p>B 球技</p> <p>【知識及び技能】勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> | <p>ネット型 バレーボール ベースボール型 ソフトボール ゴール型 ラグビー</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p> | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|---|
| <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> | | <p>たすけなどによって攻防をすることかできる。ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>2学期</p> <p>C 水泳</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p> | <p>クロール 平泳ぎ スタート タイム測定</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>D 武道</p> <p>【知識及び技能】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することなどや、健康・安全を確保すること。</p> | <p>基本動作 姿勢・組み方・すり足・歩み足・継ぎ足 受け身 横受け身、後ろ受け身、前回り受け身 固め技の連絡 けさ固め、横四方固め、上四方固め 投げ技 小内刈り・大内刈り・釣り込み腰・背負い投げ 投げ技の連絡・固め技の連絡 自由練習や簡易な試合</p> | <p>【知識・技能】伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。</p> | <p>スポーツの歴史的発展と多様な変化 現代のスポーツの意義や価値 スポーツの経済的効果と高潔さ スポーツが環境や社会にもたらす影響</p> | <p>【知識及び技能】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 2 |
| <p>B 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能身に付けることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することなどや、健康・安全を確保すること。</p> | <p>20分間走 25分間走 30分間走 走るフォーム 呼吸法 ペースの作り方</p> | <p>【知識・技能】技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などについて理解している。長距離走では、ペースの変化に対応して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】陸上競技に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>C ダンス</p> | <p>現代的なリズムのダンス</p> | <p>【知識・技能】ダンスの名称や用語、踊りの</p> | | | | |

| | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----------------------|
| 3 学 期 | <p>【知識及び技能】感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> | リズムに乗って全身で自由に踊るまとまりを付けて踊る発表や交流の様子 | <p>特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。</p> <p>表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| D 武道 | <p>【知識及び技能】技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p> | <p>基本動作 姿勢・組み方・すり足・歩み足・継ぎ足 受け身 横受け身、後ろ受け身、前回り受け身 固め技の連絡 けき固め、横四方固め、上四方固め 投げ技 小内刈り・大内刈り・釣り込み腰・背負い投げ 投げ技の連絡・固め技の連絡 自由練習や簡易な試合</p> | <p>【知識・技能】伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などについて理解している。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】武道に自主的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 合計 79 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 A組～ H組

教科担当者：（A組：倉口）（B組：大比良）（C組：大比良）（D組：倉口）（E組：奥浦）（F組：奥浦）
（G組：奥浦）（H組：倉口）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。

科目 保健 の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身につけるようにする。 | 健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 | 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 |

| | 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---------|---|---|--|---|---|---|----------|
| 1 学期 | A 現代社会と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 | ・日本における健康課題の変遷 ・健康の考え方と成り立ち ・ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり ・健康に関する意思決定、行動選択 ・現代における感染症の問題 ・感染症の予防 ・性感染症、エイズとその予防 ・生活習慣病の予防と回復 ・身体活動、運動と健康 上記9項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。 | 【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代における健康課題とその予防及び対策について理解している。・特に現代の感染症とその予防、生活習慣病について十分理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 9 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | 1 |
| 2 学期 | A 現代社会と健康 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 | ・食事と健康 ・休養、睡眠と健康 ・がんの予防と回復 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患への対応 上記8項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。 | 【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代における健康課題とその予防及び対策について理解している。・特に現代の感染症とその予防、生活習慣病について十分理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | B 安全な社会生活 【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。 | ・事故の現状と発生要因 ・交通事故防止の取り組み ・安全な社会の形成 上記3項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。 | 【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 定期考査 | | | ○ | | | 1 |

| | | | | | | | |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|
| 3 学期 | <p>B 安全な社会生活</p> <p>【知識及び技能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 安全についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の安全を考えそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができるようにする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 応急手当の意義と救急医療体制 ・ 心肺蘇生法 ・ 日常的な応急手当 <p>上記3項目について教科書、図説、パワーポイントのスライドを使用して指導する。 また、一人1台端末を活用する。</p> | <p>【知識・技能】 学習して得た知識を既有的知識と関連付けたり活用したりする中で生活の場面でも活用できる程度に理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活について自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して安全な社会づくりや応急手当について適切に判断、実施できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 普段の授業や家庭学習において課題の解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 3 |
| | 合計 | | | | | | |
| | 25 | | | | | | |
| 定期考査 | | | | ○ | | | 1 |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽 I

教科：芸術

科目：音楽 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～H組：戸田）

使用教科書：（MOUSA1）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】芸術の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|--|---|
| 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 | 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 | 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 | |
|-------------|--|---|---|---|------|---|---|---|------------------|----|
| | | 歌 | 器 | 創 | | | | | | |
| 1 学 期 | <p>題材：J ポップを歌おう</p> <p>【知識及び技能】 自分自身の声の特徴を捉え、J ポップに合った発声法を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。</p> | <p>・ミックスボイス、ミドルボイスについて</p> <p>・「負けないで」「若者のすべて」「Lemon」</p> | ○ | | | <p>【知識及び技能】 自分自身の声の特徴を捉え、J ポップに適した発声法を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱表現の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | <p>題材：生活や社会における音楽の価値ってなんだろう</p> <p>【知識及び技能】 BGMの役割を理解し、表現上の効果を音楽的な関わりによって説明できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会をより豊かにしていくBGMの在り方について考えられるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組み、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度を養う。</p> | <p>ニルンベルクのマイスターズンガーより第一幕への前奏曲、アイランド音楽</p> | | ○ | | <p>【知識及び技能】 BGMの役割を理解し、表現上の効果を音楽的な関わりによって説明することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生活や社会をより豊かにしていくBGMの在り方について考えられる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に学習に取り組み、音楽によって生活や社会を豊かにしていく態度を養おうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | <p>題材：本気のクラシックギター</p> <p>【知識及び技能】 クラシックギターの響きや良さを生かした奏法を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 クラシックギターの音色をイメージしながら美しいアンサンブルを奏でるために創意工夫した音楽表現をできるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しむ。</p> | <p>第三の男</p> | | ○ | | <p>【知識及び技能】 クラシックギターの響きや良さを生かした奏法を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 クラシックギターの音色をイメージしながら美しいアンサンブルを奏でるために創意工夫した音楽表現ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に音楽活動に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 8 |
| 2 学 期 | <p>題材：イタリア歌曲を歌おう</p> <p>【知識及び技能】 ベルカント唱法による発声の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。</p> | <p>Caro mio ben</p> | ○ | | | <p>【知識及び技能】 ベルカント唱法による発声の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>題材：ドイツ歌曲を歌おう</p> <p>【知識及び技能】 ドイツ的頭声発声による発声の技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しむ。</p> | <p>Ich liebe dich</p> | ○ | | | <p>【知識及び技能】 ドイツ的頭声発声による発声の技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 曲想に応じた歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協働的に歌唱活動の学習に取り組み、音楽文化に親しもうとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | <p>題材：ギター弾き歌いに挑戦しよう</p> <p>【知識及び技能】 コードを押さえたストローク奏法を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な伴奏のリズムを創意工夫する。</p> | <p>日曜日よりの使者</p> | | ○ | ○ | <p>【知識及び技能】 コードを押さえたストローク奏法を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な伴奏のリズムを創意工夫することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> | ○ | ○ | ○ | 10 |

| | | | | | | |
|-------------|---|--|--|---|--|----------|
| 2 学 期 | <p>C 単元 表現・鑑賞／絵画</p> <p>【知識及び技能】 小説の全体からくるイメージや各場面からくるイメージなどを思い浮かべながら、場面の意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。具体物や抽象的なものの組み合わせ、構図や色彩などの効果、全体のイメージなどを捉え、絵の具などの特性を生かして表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 想像や空想したイメージなどを基に、形体や色彩、配置、組み合わせなどの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 空想や夢などから、心の中の世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p> | <p>○読書感想画 本 校の図書館を活用し、小説を読んだ で制作し、全員読書感想画コンク ール出展とする。 教材 アクリルガッシュ クロッキーブック 6B鉛筆 画用紙 一人一台端末の活用 等</p> | | <p>【知識及び技能】 「知」場面を効果的に演出し、色彩、構図などの性質やそれらが感情にもたらす効果、具体物や抽象的なものの組み合わせなど造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて絵の具などの特性や効果を生かすとともに、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」小説の場面を想像や空想したイメージなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、配置、組み合わせなどについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 「鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」小説の内容などを基に、心の中の世界を表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の表したい夢や空想の世界の特徴や美しさなどについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> | | 28 |
| 3 学 期 | <p>D 単元 表現・鑑賞／デザイン</p> <p>【知識及び技能】 ステンドグラス風ランプシェードにおいて、カラーシートによる光の色合いを考慮した自然物や幾何学模様などの形と色彩の特徴の美しさ、構成などの効果、全体のイメージなどを捉え、カラーシートとトレッシングペーパーの材料の比率や用具の特性を生かし、計画を基に表す。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自然物などの形や色彩の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練ったり鑑賞したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自然物の特徴などを生かして模様をデザインする創造活動に、主体的に取り組む。</p> | <p>○カラーシートや紙類を用いた光のタワーを自由に創意工夫し表現する。、 教材 カラーシート トレッシングペーパー 和紙 クロッキーブック マジック 6B 光の塔（単3） 一人一台端末の活用 等</p> | | <p>【知識及び技能】 「知」カラーシートによる光の色合いを意識した形や色彩、構成の効果などが感情にもたらす効果や、用いる人や場面、目的や条件、機能や用途などを考え、全体のイメージで捉えることを理解している。 「技」意図に応じて表現方法を創意工夫して、制作の順序などを総合的に考えながら形や色彩、構成の効果を生かし、見通しをもって創造的に表している。</p> <p>【思考・判断・表現】 「発」用いる人の心情や使用する場面などで求められる効果や機能などから主題を生成し、形や色彩、構成などが感情にもたらす効果や美しさなどとの調和を総合的に考え、表現の構想を練っている。 「鑑」模様のもつ機能や用途を生かすための形や色彩、構成の特徴や美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫について考え、見方や感じ方を深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「態表」主題を生み出し、模様のもつ機能や用途などを考え、構想を練り、意図に応じて創造的に工夫し見通しをもって表す表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。 「態鑑」模様のもつ目的や機能、美しさなどを感じ取り、表現の意図と工夫について考えるなど、見方や感じ方を深める鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。</p> | | 12 |
| | | | | | | 合計 70 |

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術

科目：書道 I

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ H 組

教科担当者：（A～H組：大江）

使用教科書：（光村図書 書道 I）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】書の表現や歴史を理解するとともに、基礎的な技術を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】書の美しさや作品構成を考え、現在も残る作品の文化的意味や価値をとらえることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】書に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

科目 書道 I

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|---|---|
| 書の表現の方法や歴史、多様性などについて幅広く理解するとともに、技術向上を図り、書の伝統に基づき効果的な表現をするための基礎的な技能を身につけるようにする。 | 書の美しさを感じ、作品の構成要素を考え表現を工夫したり、作品の文化的意味や価値を考え、書的美を味わい捉えることができるようにする。 | 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたる書を楽しむ心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 表現 | | | 鑑賞 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|---|----|---|---|----|---|---|---|---|------------------|
| | | 漢 | 仮 | 漢 | | | | | | |
| <p>書写から書道へ</p> <p>【知識及び技能】 小・中学校国語科書写と高等学校芸術科書道の学習の違いを確認する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 芸術科書道への関心・意欲を高め、書に対する感性を豊かにし、書を楽しむ心情を養う。</p> | <p>・書写と書道の違い</p> <p>・書道での基本的な学習方法を理解する</p> <p>教材： 書道用具一式・教科書・プリント（以後、毎回持参）</p> | | | | | <p>【知識・技能】 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校国語科書写で学習したことを理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 芸術科書道で学習する内容に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。</p> | | | | 4 |
| <p>楷書「唐の四大家」鑑賞と臨書</p> <p>【知識及び技能】 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について工夫する。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を楽しむ心情を養う。</p> | <p>・楷書の成立と変遷</p> <p>・臨書『孔子廟堂碑』</p> <p>・臨書『九成宮醜泉銘』</p> <p>・臨書『雁塔聖教序』</p> <p>・臨書『顔氏家廟碑』</p> | | | | | <p>【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。</p> <p>基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>歴史的背景や内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。</p> | | | | 8 |
| <p>楷書「唐の四大家」まとめ</p> <p>4文字臨書作品の制作</p> <p>【知識及び技能】 初唐の三大家と太宗皇帝の関係について理解する。唐の四大家の人物や政治的立場など、その人物像を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 四大家それぞれの書風に則した用筆・運筆・字形について構想し、理解する。半紙に対しての構成を思考し効果的な作品を作る。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 幅広い表現と鑑賞の学習活動に主体的に取り組む、書に対する感性を豊かにし、書を楽しむ心情を養う。</p> | <p>・4文字選文し、半紙に臨書</p> | | | | | <p>【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。</p> <p>基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>歴史的背景や内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 楷書の古典の書体や書風に則した用筆・運筆・字形・全体の構成について構想し工夫している。古典の価値とその根拠について考え、書の良さや美しさを味わって捉えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に鑑賞と表現の学習活動に取り組もうとしている。より良い作品を作ろうと努力している。</p> | | | | 4 |
| <p>行書</p> <p>王羲之『蘭亭序』鑑賞と臨書</p> <p>【知識及び技能】 行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、線質、字形や構成を生かした表現を身につける。</p> | <p>・行書の成立と変遷</p> <p>・王羲之の人物像や書道史における位置づけ</p> <p>・臨書『蘭亭序』</p> | | | | | <p>【知識・技能】 古典の書体や書風と用筆・運筆について理解している。</p> <p>基本的な用筆・運筆の技能、線質、字形の構成を生かした表現を身につけている。</p> <p>歴史的背景や内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> | | | | |

| | | | | | | | | | | | |
|----------|---|----------|--|--|--|--|--|--|--|---|-----|
| 2 学期 | <p>【思考力、判断力、表現力等】 不定詞を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。</p> | | | | | | | | | | 16 |
| | 定期考査及び解説 | | | | | | | | | | 2 |
| | <p>【知識及び技能】 仮定法を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮定法や付帯状況の表現完了形、用いた受動態や助動詞の表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。</p> | Lesson9 | | | | | | | | | 16 |
| 定期考査及び解説 | | | | | | | | | | 2 | |
| 3 学期 | <p>【知識及び技能】 that節、強調構文を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 仮定法過去完了や過去を表す表現を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。またtopicにあった文章を書いたり発表したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する姿勢が見られる。</p> | Lesson10 | | | | | | | | | 20 |
| | | | | | | | | | | | |
| 合計 | | | | | | | | | | | 100 |

年間授業計画

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 情報 科目 情報Ⅰ

教科： 情報 科目： 情報Ⅰ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組 ～ H 組

教科担当者： （A～H組：結城）

使用教科書： （ 日本文教出版「情報Ⅰ」 ） 使用教材： （日本文教出版「情報最新トピック集」 ）

教科 情報 の目標： 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得する
 【知識及び技能】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
 【思考力、判断力、表現力等】 効果的に活用する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報Ⅰ の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|--|--|---|
| 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。 | 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 | 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配 当 時 数 |
|--|--|---|---|---|---|------------------|
| <p>A 単元：情報社会の問題解決</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(ア) 情報やメディアの特性を踏まえ、情報の科学的な見方・考え方を情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法を身に付けること。</p> <p>(イ) 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。</p> <p>(ウ) 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア) 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考える。</p> <p>(イ) 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察すること。</p> <p>(ウ) 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>情報社会における問題の発見・解決に情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。</p> | <p>○情報の特性</p> <p>○メディアの特性</p> <p>○問題解決の考え方</p> <p>○法の重要性と意義 （知的財産権 個人情報）</p> <p>○情報社会と情報セキュリティ</p> <p>○情報技術の発展による生活の変化</p> <p>○情報社会の発展による社会の変化</p> <p>CALL室のデスクトップPCとBYOD端末、それにスマートフォンを使い、クラウドサービスを利用した情報の共有（学習資料や実習サンプルの提示や配布）および意見の収集や課題等の提出物の回収を行う。</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①情報とデータの違いについて理解している。情報の特性について理解している。②メディアの3つの特性とそれぞれのメリットとデメリットについて理解している。メディアが人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解している。③問題を発見する技能を身につけている。問題解決の一連の流れにおいて、それぞれの過程で必要になることを理解している。問題解決の流れについて理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。④情報社会における著作権侵害について理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。知的財産権、産業財産権、著作権について理解している。著作物と著作権について理解している。著作物の権利を守りながら著作物を利用するための方法について理解している。⑤個人情報について理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。個人情報の保護に関する法律について理解している。⑥サイバー犯罪について理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。サイバー犯罪の分類について理解している。情報セキュリティの確保の重要性について理解している。情報通信技術を悪用したさまざまな犯罪について理解している。⑦ソーシャルメディアについて理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。ソーシャルメディアがわたしたちの生活に与える影響について理解している。ソーシャルメディアの利用にあたってわたしたちが果たすべき役割について理解している。情報や情報技術を活用して問題を発見・解決する技能を身につけている。⑧情報技術の発展による社会の変化について理解している。情報社会が抱える問題と、それらの問題を解決していくことの重要性について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①情報の特性を観点に分けて考えることができる。具体的な特性を理由とともに説明できる。②目的や状況に応じて、適切なメディアを選択することができる。理由とともにメディアの捉え方を説明することができる。③目的や状況に応じて、問題を発見・解決する方法について考えることができる。目的や状況に応じて、情報を適切に活用して問題を発見し、解決のためのアイデアについて考えることができる。④目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。</p> | | | | |

| | | | | | | |
|--|---|--|---|---|---|---|
| | | <p>情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。⑤目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。情報に関する法規や制度の重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。⑥目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。情報に関する法規や制度の重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。⑦目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。情報に関する法規や制度の重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。⑧情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する方法について考えることができる。情報に関する法規や制度の重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて、それらの背景を科学的に捉え、考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考えることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①情報の特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。②メディアの特性が果たす意義や、留意点に気づき、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。③問題の発見・解決について主体的に取り組もうとしている。解決する過程や解決案を改善しようとしている。情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。④情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。⑤情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。⑥情報社会における問題の発見・解決に、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。また、自己調整しながら、解決する過程や解決案を自ら評価し改善しようとしている。情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。⑦情報モラルに配慮して情報社会に主体的に参画しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>B単元：コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(ア)メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。</p> <p>(イ)情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。</p> <p>(ウ)効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア)メディアとコミュニケー</p> | <p>○メディアとコミュニケーション(コミュニケーションとメディアの活用 コミュニケーション手段の特性 インターネットの発展 情報機器のパーソナル化とソーシャルメディア)</p> <p>○情報のデジタル化(コンピュータとデジタルデータ 文字のデジタル表現 データの圧縮 音のデジタル化 画像のデジタル化 動画のデジタル化 情報のデジタル化とデータ量)</p> <p>CALL室のデスクトップPCとBYOD端末、それにスマートフォンを使い、クラウドサービスを利</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①コミュニケーションの手段の発達について理解している。メディアの発達により生じる課題の原因を理解している。メディア・リテラシーの必要性について理解している。コミュニケーションの形態について理解している。インターネットの特性について理解している。メディアによって伝えることができる表現の種類が異なることを理解している。パケット通信技術について理解している。ブロードバンド、携帯電話網の無線通信技術の発達について理解している。インターネットが普及したことにより情報格差が生まれたことについて理解している。ソーシャルメディアのしくみについて理解している。公開範囲の設定を限定公開に変更する方法について理</p> | | | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| <p>シオン手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。</p> <p>(イ) コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行う態度を身に付ける。</p> | <p>用した情報の共有（学習資料や実習サンプルの提示や配布）および意見の収集や課題等の提出物の回収を行う。</p> | <p>解している。無料でサービスを利用できる理由について理解している。②アナログとデジタルの違いについて理解している。2進法・10進法・16進法の相互変換について理解している。文字コードのエンコーディングについて理解している。ビットマップフォントとアウトラインフォントの違いを理解している。ランレングス圧縮とハフマンの符号化の圧縮について理解している。可逆圧縮と非可逆圧縮について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①メディアが発達したことにより、便利になったことと課題について考えることができる。インターネットの特性を踏まえ、情報発信時に誹謗中傷や人権に配慮できているかを判断できる。情報の信憑性を判断し、内容が正しいか見極めることができる。目的に応じたメディアの選択ができる。通信が高速化したことにより、どのようなことができるようになったか考えることができる。情報格差の問題点について考えることができる。自分の発信する情報がどこまで影響があるかを考え、適切に発信することができる。②アナログとデジタルのそれぞれの利点と欠点について考えることができる。ビットマップフォントとアウトラインフォントの違いについて考えることができる。自分でつくったデータを圧縮し、他者がつくった圧縮データを展開することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①メディアの種類を振り返り、自らの学習を調整しようとしている。メディアが発達したことにより、生じた課題について主体的に考えようとしている。普段使っているコミュニケーションの手段について、その特性を積極的に考えようとしている。実際に起こった事例を積極的に調べ、考えを深めようとしている。5Gが普及することで実現されるサービスの調査に粘り強く取り組み、考えを深めようとしている。情報格差の問題点、解消するアイデアについて考えようとしている。スマートフォンなどの利用について考え、理解を深めようとしている。ソーシャルメディアの公開設定を確認し、理解しようとしている。②身近なアナログとデジタルのデータを扱っているものを積極的に探し、理解を深めようとしている。文字のエンコーディングやデコーディングについて、興味を持って課題に取り組もうとしている。圧縮と展開の活動に積極的に取り組み、理解しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 4 |
| <p>定期考査</p> | | | ○ | ○ | | |
| <p>B単元：コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(ア) メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解すること。</p> <p>(イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解し表現する技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア) メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。</p> <p>(イ) コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。</p> <p>(ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行う態度を身に付ける。</p> | <p>○情報デザイン</p> <p>(情報デザインとは 情報デザインのプロセスと問題の発見 デザインの要件と設計・試作 評価と改善・運用)</p> <p>CALL室のデスクトップPCとBYOD端末、それにスマートフォンを使い、クラウドサービスを利用した情報の共有（学習資料や実習サンプルの提示や配布）および意見の収集や課題等の提出物の回収を行う。</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>③音のデジタル化のA/D変換について理解している。画像のデジタル化のA/D変換について理解している。動画のデジタル化のしくみを理解している。音、画像、動画のデータ量を求める計算について理解している。④情報デザインの意味について理解している。情報デザインの作業手順について理解している。問題発見の重要性を理解している。デザインの要件に必要な事項を理解している。試作を作成するためのソフトウェア操作の技能を身につけている。評価の手法の種類や得られる情報について理解している。情報デザインの意味について理解している。デザイン物（ポスター・Webサイト）をつくる技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>③サンプリング周波数や量子化ビット数が変化すると、音がどうなるか説明することができる。解像度を変えると、何がどのように変わったか説明することができる。フレーム内圧縮とフレーム間圧縮のデータ量の違いを説明することができる。フレームレートが増えると見え方がどう変わるか説明できる。これまで学んだデジタル化や圧縮のしくみを説明できる。音、画像、動画のデータの特性に応じた適切な計算式を判断できる。④アートと情報デザインの違いを考えることができる。情報デザインの考えをもとに伝えたい情報を表現することができる。身近な問題を考え、表現することができる。情報デザインにより解決できるような問題を調べることができる。</p> | | | | |

| | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|
| | | <p>解決させている問題を避けることができる。メディアにあった表現を考えることができる。要件に基づいてラフ・試作品を表現できる。適切な評価の手法を選択できる。評価の結果から、試作品の改善点を考えることができる。改善点を実際のデザインとして表現できる。問題と解決方法を適切に判断して選択できる。要件の定義など情報デザインの視点から考えることができる。情報デザインの考えをもとに表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③自分のコンピュータやスマートフォンに入っている音を積極的に探し理解を深めようとしている。ディスプレイがどのようなしくみで画像を表示しているか、積極的に調べようとしている。撮影した写真を連続して表示し、その内容から動画のしくみを理解しようとしている。データを求める計算に積極的に取り組み、理解を深めようとしている。④情報デザインの力で問題解決に取り組もうとしている。グループの話し合いに積極的に関与しようとしている。問題を自分事として考えようとしている。要件の定義を話し合う活動に積極的に関与しようとしている。ラフをつくるときに、積極的にアイディアを出し、他者の意見を尊重しながら問題を解決しようとしている。評価、改善の取り組みの重要性を理解し、より良いものをつくろうとしている。実際の運用に積極的に関わろうとしている。問題を自分事として捉え、積極的に取り組もうとしている。グループの協働作業に積極的に関与しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 7 |
| <p>C単元：コンピュータとプログラミング</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(ア) コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解すること。</p> <p>(イ) アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解し技能を身に付けること。</p> <p>(ウ) 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア) コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察すること。</p> <p>(イ) 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善すること。</p> <p>(ウ) 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>モデル化やシミュレーションの考え方を様々な場面で活用できるようにするために、問題発見や解決に役立て、問題の適切な解決方法を考える力を育成する方法を身に付ける。</p> | <p>○コンピュータのしくみ (コンピュータの基本的な構成(ソフトウェアとOS、CPUとメモリ、CPUによる演算のしくみ、2進法による計算))</p> <p>○アルゴリズムとプログラム (アルゴリズムの基本と表現方法、プログラムの構成要素、データの扱い、アプリケーションの開発)</p> <p>○モデル化とシミュレーション (モデル化とシミュレーション、コンピュータを利用したシミュレーション)</p> <p>CALL室のデスクトップPCとBYOD端末、それにスマートフォンを使い、クラウドサービスを利用した情報の共有(学習資料や実習サンプルの提示や配布)および意見の収集や課題等の提出物の回収を行う。</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①コンピュータの構成要素やデータの制御・データの流れを理解している。ソフトウェアの種類と、OSの役割について理解している。CPUのしくみとその役割について理解している。メインメモリの役割について理解している。各論理回路のしくみについて理解している。論理回路を組み合わせたものから自分で真理値表を作成する技能を身につけている。2進法の表現方法について理解している。2の補数の考え方について理解している。浮動小数点数の考え方について理解している。アルゴリズムの意味やプログラムとの関係を理解している。②アルゴリズムの効率性の意味を理解している。アルゴリズムの基本構造について理解している。アルゴリズムを表現する図や表について理解している。プログラムの構成要素である変数、データ型、演算の意味や種類を理解している。プログラムの構成要素である関数、ライブラリ、APIについて理解している。プログラムとデータの関係について理解している。データ構造、配列について理解している。プログラミングによってコンピュータを活用する技能を身につけている。乱数について理解している。プログラミングによってコンピュータを活用する技能を身につけている。2次元配列について理解している。データの入れ替え方法について理解している。データの並べ替え方法について理解している。ユーザ定義関数について理解している。③社会や自然などにおける事象をモデル化する方法について理解している。モデル化とシミュレーションの手順について理解している。モデル化とシミュレーションの手順について理解し、モデルを使ってシミュレーションを行う技能を身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①コンピュータを構成する各装置とデータの流れと制御の流れを表現し、説明することができる。ハードウェアの3つの要素がどのような働きをするか説明できる。OSの役割について、イラストを描き、説明することができる。GUIとCUIの操作を通して、それぞれのメリットとデメリットを説明できる。コンピュータやスマートフォンの製品ページを見て、ハードウェアの比較ができる。より良い性能の製品を選ぶことができる。論理回路を</p> | | | | |

2
学
期

| | | | | | | |
|---|---|--|---|---|---|----|
| | | <p>組み合わせたものから自分で真理値表を作成できる。2の補数を表現できる。浮動小数点数を表現できる。どのような場合に誤差が生じるか考えることができる。②簡単な事例について、コンピュータに処理させる手順を文章化できる。ある処理について、複数のアルゴリズムを考え、効率の高いものを判断できる。基本構造を組み合わせ、アルゴリズムを構造化することができる。アルゴリズムを図や表で表現し、アルゴリズムを可視化できる。演算例をもとにして、プログラミングの構成要素について考え、正しい結果を出力することができる。関数、ライブラリ、APIの具体例から効果的な利用法を考えることができる。プログラムの中のデータ（配列）を表現したり、自分でアレンジしたりすることができる。プログラムをフローチャートで表現することができる。プログラムの中身を理解し、目的に応じて自分でアレンジすることができる。プログラムの中身を理解し、目的に応じて自分でアレンジすることができる。2次元配列を利用してプログラムを改良することができる。プログラムの中身を理解し、目的に応じて自分でアレンジすることができる。③問題解決の場面に於いて、適切なモデルを選択し表現することができる。目的に応じたモデルを表現することができる。プログラムによるシミュレーションのメリットとデメリットについて説明することができる。プログラムを用いて、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その過程を評価し改善することができる。プログラムを用いて、目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行い、その過程を評価し改善することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①スマートフォンの内部をインターネットで調べる活動や、インタフェースを確認する活動に積極的に取り組もうとしている。OSの種類を探る活動に積極的に取り組もうとしている。コンピュータのスペックを調べる課題に積極的に取り組もうとしている。自ら真理値表を考え作成しようとしている。理解を深めるために、2進法のさまざまな計算に積極的に取り組もうとしている。②身のまわりにあるコンピュータで処理できるような事例を自ら考え、理解を深めようとしている。処理対象を自分で考え、アルゴリズムを構造化、可視化しようとしている。対象を自分で考え、既存のプログラムを改良することで、プログラミングの理解を深めようとしている。学んだ知識をもとにして、具体的な事例を自分で探し、問題を解決しようとしている。身近な問題の解決にプログラムを積極的に活用しようとしている。プログラムの結果をもとに試行錯誤しながら改善しようとしている。プログラムの結果をもとに試行錯誤しながら改善しようとしている。身近な問題の解決にプログラムを積極的に活用しようとしている。プログラムの過程・結果を粘り強く評価、改善し、理解を深めようとしている。③身近な問題を解決するためのモデル化に、積極的に取り組もうとしている。問題解決の結果を振り返り改善しようとしている。シミュレーションの結果をもとに試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとしている。シミュレーションの結果をもとに試行錯誤しながら粘り強く評価し改善しようとしている。</p> | ○ | ○ | ○ | 14 |
| <p>D 単元：情報通信ネットワークのしくみ</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>(ア) 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解すること。</p> <p>(イ) データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解すること。</p> <p>(ウ) データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解し、</p> | <p>○情報通信ネットワークのしくみ (コンピュータネットワークネットワークの接続 プロトコルとIP データ転送のしくみ 情報セキュリティの確保と対策 暗号化のしくみ 暗号化と認証技術)</p> <p>○情報システムとデータベース (情報システムにおけるデータベース DBMSとデータモデル)</p> <p>○データの活用 (データの収集と整理 数値データの分析 テキストデータの分析)</p> | <p>【知識・技能】</p> <p>①機器同士を情報通信ネットワークで接続するしくみを理解している。情報通信ネットワークを構成する要素とその役割を理解している。無線LANと有線LANの接続形態について理解している。情報通信におけるプロトコルの重要性やしくみについて理解している。パケット通信のしくみについて理解している。IPの役割とIPアドレスについて理解している。TCPとUDP、HTTPの役割について理解している。メイン名とDNS、電子メールのプロトコルについて理解している。情報セキュリティに求められる3つの要素について理解している。認証技術、OSやアプリのアップデートの必要性を理解し、適切に使用・実行する機能を身につけている。共通鍵暗号方式と公</p> | | | | |

技能を身に付けること。
【思考力、判断力、表現力等】
 (ア) 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択するとともに、情報セキュリティを確保する方法について考えること。
 (イ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。
 (ウ) データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択し、実行し、評価し改善すること。
【学びに向かう力、人間性等】
 情報技術を適切かつ効果的に活用しようとする態度、データを多面的に精査しようとする態度、情報セキュリティなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度を身に付ける。

CALL室のデスクトップPCとBYOD端末、それにスマートフォンを使い、クラウドサービスを利用した情報の共有（学習資料や実習サンプルの提示や配布）および意見の収集や課題等の提出物の回収を行う。

公開鍵暗号方式について理解している。デジタル署名やデジタル証明書、通信されるデータを暗号化するプロトコルのしくみとその必要性について理解している。②身のまわりにある情報システムについて理解している。データベースについて理解している。情報システムとデータベースの関係について理解している。データがどのように活用されているか理解している。DBMSの役割とその必要性について理解している。NoSQLについて理解している。③データ分析の手順について理解している。データの収集についてさまざまな方法があることを理解している。量的データ、質的データの違いについて理解している。数値データの分析手法について理解している。テキストデータの処理方法について理解している。Webサービスを利用しないテキストデータを分析する方法について理解している。

【思考・判断・表現】
 ①目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける構成要素を選択することができる。有線LANと無線LANを状況によって使い分け、小規模なネットワークを設計することができる。コンピュータネットワークでどのように情報がやり取りされているか説明することができる。URLやメールアドレスを見ただけで、どのような組織なのか判断できる。HTTPを用いたWebブラウザとWebサーバのやり取りを説明できる。電子メールでメッセージをやり取りするしくみを説明できる。認証技術のしくみを知り、適切な使用を判断できる。ファイアウォールにおけるパケットフィルタリングの機能について説明できる。共通鍵暗号方式と公開鍵暗号方式の違いや、それぞれのしくみを説明することができる。公衆無線LANやWebブラウザの危険を予測でき、安全・安心に利用する、場合によっては利用しない選択ができる。②情報システムを構成する技術が各種分野でも利用されていることが考えられる。未来の情報システムについて具体的にイメージできる。各情報システムから得られる情報について調査し、どのような分野に応用されるか考えることができる。調査内容を発表できる。データモデルの違いを考え、データモデルの種類に応じて設計できる。DBMSの種類について長所・短所を整理することができる。非構造化データが実際に利用されている例を説明することができる。③データ収集方法によるメリット、デメリットを判断し、適切な方法で実習のためのデータ収集ができる。データ分析に必要なオープンデータをインターネットから取得し、データ分析が行いやすいようデータの整理ができる。身のまわりのデータを分類することができる。表計算ソフトウェアを利用して数値データの分析・表現することができる。適切な処理結果を得るため、どのようにデータクレンジングすればよいか考えることができる。テキストマイニングの結果からデータの特徴を抽出できる。

【主体的に学習に取り組む態度】
 ①情報通信ネットワークに興味を持ち、主体的に活用しようとしている。情報通信ネットワークを適切かつ効果的に活用しようとしている。情報の科学的な見方・考え方を働かせて、情報通信ネットワークのしくみを理解しようとしている。情報通信ネットワークを使うときに、目的や方法に応じて使用されているプロトコルやドメイン名を理解しながら活用しようとしている。パソコンやスマートフォンのOSやアプリを最新の状態に保ち、安全に使用しようとしている。情報セキュリティの科学的な理解に努め、情報通信ネットワークを適切に活用しようとしている。情報

○ ○ ○

合計